



2023年4月13日

各位

会社名 株式会社 松屋
代表者 代表取締役社長執行役員 古屋 毅彦
(コード番号 8237 東京証券取引所プライム市場)
問合せ先 総務部コーポレートコミュニケーション課
課長 関 泰程
(TEL. 代表 03-3567-1211)

2023年2月期通期業績予想との差異および 繰延税金負債の計上に関するお知らせ

2022年10月13日に公表いたしました2023年2月期の通期業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2023年2月期第4四半期連結(個別)会計期間(2022年12月1日～2023年2月28日)において、下記のとおり繰延税金負債を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年2月期通期業績予想数値との差異(2022年3月1日～2023年2月28日)

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,500	50	50	4,400	82.92
実績(B)	34,400	347	261	4,383	82.62
増減額(B-A)	1,900	297	211	△16	—
増減率(%)	5.8	595.7	422.3	△0.4	—
(ご参考) 前期通期実績 (2022年2月期)	65,039	△2,280	△2,107	1,000	18.85

(注) 2023年2月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しており、上記の前回発表予想および実績は当該会計基準等を適用した後の数値となっております。なお、総額売上高(従来の計上方法による売上高)の実績は87,629百万円、前回発表予想との差異は6,629百万円(増減率8.2%)であります。

(2) 個別

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	26,500	100	3,700	69.64
実 績 (B)	27,822	228	3,488	65.66
増 減 額 (B-A)	1,322	128	△211	—
増 減 率 (%)	5.0	128.4	△5.7	—
(ご参考) 前 期 通 期 実 績 (2 0 2 2 年 2 月 期)	59,461	△1,982	824	15.52

(注) 2023年2月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しており、上記の前回発表予想および実績は当該会計基準等を適用した後の数値となっております。なお、総額売上高(従来 of 計上方法による売上高)の実績は80,996百万円、前回発表予想との差異は5,996百万円(増減率8.0%)であります。

2. 業績予想との差異の理由

百貨店業におきまして、国内のお客様に対する売上高が好調に推移したことに加え、年度後半より訪日外国人の来店が増加したことにより、ラグジュアリーブランドを中心に免税売上高が前年実績を大きく上回ったことから、連結の売上高、営業利益、経常利益および個別の売上高、経常利益がそれぞれ前回予想を上回りました。

一方、百貨店業において繰延税金負債を計上したことに伴い法人税等調整額が増加したことや、固定資産の除却に伴う特別損失が増加したこと等から、連結および個別の当期純利益は前回予想を下回りました。

3. 繰延税金負債の計上について

百貨店業におきまして、特定資産を買い換えた場合の圧縮記帳を適用し、税効果を認識したことにより繰延税金負債を計上するとともに、法人税等調整額435百万円(連結・個別)を計上しております。

以 上